

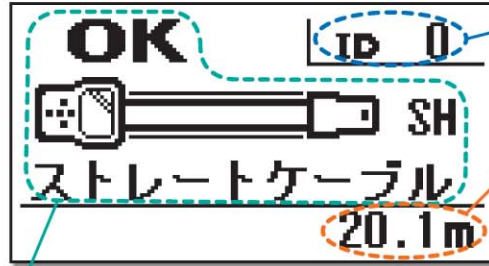
簡単操作

ケーブルを接続し
TEST キーを押す



一括表示

ワイヤマップ・ディレクション・ケーブル長を同時にチェック、測定結果が一目で分かる一括表示



2 ディレクション

接続されているターミネータの ID 番号を表示。

3 ケーブル長

ケーブルの全長、または断線/短絡等、問題のある箇所までの距離を表示。

1 ワイヤマップ

配線状況を OK/NG で表示。

ケーブルの種類、NG の内容、シールドのある/なしも表示。

1 ワイヤマップ

敷設後の配線確認や断線位置の確認に。測定結果【OK/NG】が一目でわかります。

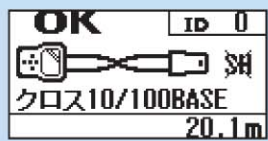
OK 画面表示例

ストレートケーブル、クロスケーブル (10/100BASE, 1000BASE-T, 1000BASE-TX) のチェックができます。

【ストレートケーブル】



【クロスケーブル】



CAT6 ケーブルに対応

CAT6 までのケーブルを検査できます。

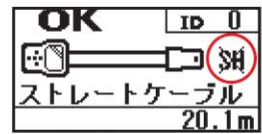
検出機能
UP!!

シールド有無検出が可能

シールド付きの LAN ケーブルも検査できます。



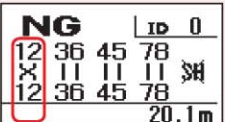
シールドあり



シールドなし

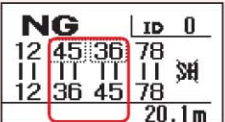
NG 画面表示例

【リバース】



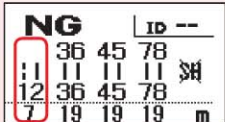
1 番ピンと 2 番ピンが逆に接続されています。

【トランスポーズ】



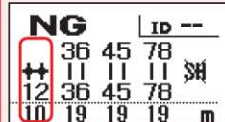
3・6 番ピンと 4・5 番ピンのペアが入れ違っています。

【オープン】



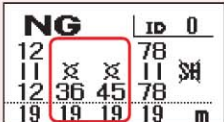
1 番ピンが本体から 7m 先でオープンになっています

【ショート】



1・2 番ピンが本体から 10m 先でショートしています。

【スプリットペア】

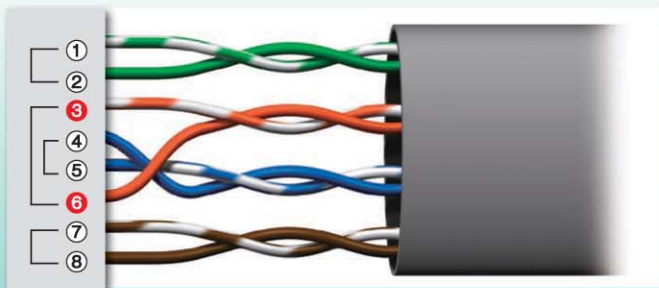


3・6 番 / 4・5 番となるはずのツイストペアが誤っています。

要注意

スプリットペア

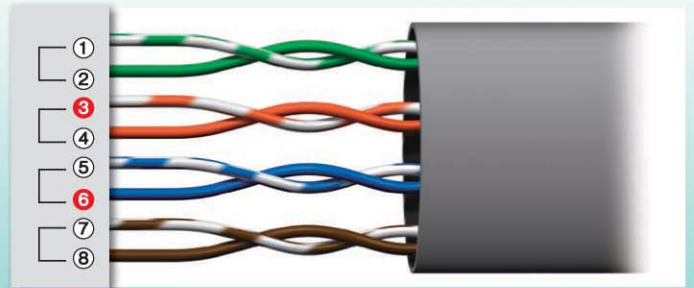
を見落としていませんか？



OK

【正常な結線】

コネクタを上図のように結線すると正しく配線できます。3 番ピンと 6 番ピンがツイストしています。



NG

【スプリットペア】

コネクタを上図のように結線すると誤結線【スプリットペア】になります。3 番ピンと 6 番ピンがツイストしていません。